



芳工連だより

‘25/02
第248号

- 発行 芳賀町工業団地連絡協議会
- 栃木県芳賀郡芳賀町芳賀台 98
- TEL 028(677)5033
- <http://www.hokoren.com>
- E-Mail : infomation@hokoren.com
- 編集責任者 渡辺 信夫

■ 新春賀詞交歓会を盛大に開催

賀詞交歓会を1月17日(金)ホテルマイステイズ宇都宮において開催しました。会員企業38社から64名のご参加をいただき、賑やかな賀詞交歓会となりました。

また、来賓として芳賀町から大関一雄町長、菱沼正裕副町長、田中亜紀子商工観光課長、芳賀町議会から小林信二議長、中村由美子産業建設常任委員長、芳賀町商工会から田川治道会長のご臨席をいただきました。

司会進行は、岡田等総務企画部会長が務めました。

種子俊明副会長が「多くのご来賓と会員企業関係者多数のご参加をいただき、誠にありがとうございます。主催者として大変嬉しく思います。情報交換しながら楽しんでいってください」と開会の挨拶を述べました。



<種子俊明副会長：開会挨拶>

■ 川上恵夫会長が主催者あいさつ

主催者を代表して川上会長は「今日は、芳賀工業団地連絡協議会の賀詞交歓会にお集まりいただき、誠にありがとうございます。このような素晴らしい新春のひとときに、皆様とお会いできることを心より嬉しく思います。

まず初めに、昨年一年間のご支援とご協力に対し、深く感謝申し上げます。特に、芳賀町の工業団地に関わる皆様一人ひとりのご尽力が、地域経済の発展を支え、また工業団地の発展にも大いに貢献しましたこと、改めて感謝の意を表します。昨年を振り返りますと、芳賀工業団地においては、新たに進



<川上恵夫会長：主催者挨拶>

出してきた企業、また既存企業の事業の確実な活動がありました。これらは、日々お力添えいただいている地域や行政の皆様との連携と努力の賜物です。また、地域としても、板戸大橋4車線化などのインフラ整備や工業団地内の環境改善などが進展し、より良い事業環境が整いつつあります。

とはいえ、昨今の経済環境は依然として予断を許しません。第2次トランプ政権の発足、長引くウクライナ危機やガザ紛争などで先の見通せない国際情勢。国内経済は物価高の影響から盛り上がり欠き、夏に控える参院選とその後の国内政局という不確定要素もあります。原材料費やエネルギー費の高騰、また労働力不足など、私たちを取り巻く課題は多岐にわたっています。ですが、こうした厳しい状況においてこそ、個々の力とその連携が重要だと感じております。

今年もまた、皆様と共に力を合わせ、これらの課題に立ち向かっていく所存です。地域の持続的な発展を目指し、企業間連携をさらに強化し、情報交換や人材育成の面での協力を深めてまいりたいと考えています。新たな年を迎え、皆様と共に進む道には、きっと多くの可能性が広がっていると信じております。私たち一人ひとりがそれぞれの役割を全うし、共に支え合い、協力し合うことで、芳賀町の工業団地は益々発展を遂げていけると確信しています。

最後になりますが、2025 年が皆様にとって素晴らしい年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。そして、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます」と挨拶しました。

■ 来賓あいさつ

大関町長は「昨年は、町制施行 70 周年や LRT 開業 1 周年記念事業に際し、立地企業の皆様の協力をいただきありがとうございました。企業の皆様と連携した共創の取り組みを更に広げていきたいと思っております。今年はモビリティ社会への取り組みを進めるほか、企業の方に町を知っていただけるよう、またかしの森公園の活性化を目的としたキッチンカーを使得の「かしの森公園うまいもん横丁」を本日から隔週金曜日に開催しますのでご利用ください。今後とも変わらぬご支援、ご協力をお願いしますとともに、芳工連の益々の発展、皆様のご健勝をご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

小林議長は「今年は巳年(みとし)です。成長と変化の象徴であり、繁栄が訪れると言われております。芳工連、町、商工会が益々発展しますようご祈念申し上げます」などと挨拶しました。

■ 祝 宴

田川商工会長の「巳年は変革の年と言われておりますので、大きく飛躍しましょう！ 乾杯!!」の発声で祝宴が始まりました。

再開を喜ぶ方、初参加の方も名刺交換やご挨拶で会場は賑やかとなり、和やかなうちに歓談することができ、大変有意義な賀詞交歓会となりました。

宴たけなわではありましたが、中締めを務めた富永英夫副会長は「芳工連の継続した活動が、県道宇都宮向田線大塚工区の早期完成や板戸大橋の4車線化工事着手につながっております。今後とも会員相互が連携して活動することにより、地域や会員企業の発展につなげていきたいと思います。ご参会の皆様の益々の発展を祈念して三本締めで締めたいと思っております」と挨拶し、三本締めでお開きとなりました。



<大関一雄町長：祝辞>



<小林信二議長：祝辞>



<田川治道商工会長：乾杯発声>



<会場内様子>



<司会：岡田等総務企画部会長>



<富永英夫副会長：中締め>

■ 女性活躍推進会議⑦を開催

1月15日(水)6名の出席のもと、会議を開催しました。

研修会の開催については現在、県人権男女共同参画課に講師の紹介を依頼していることから、新年度において開催することを確認しました。

出された意見では、①先行して女性活躍の取り組みをしている清原工業団地との交流会の開催、

②会議への参加者を募集して多様な意見を出してもらう、③各部会の正副会長、役員に占める女性の割合を3分の1以上となるよう働きかける、など積極的に取り組む意欲がみられました。

また、2月7日(金)県主催の女性活躍推進の事例発表セミナーに参加するメンバーがいることから、次回3月12日(水)開催の会議時に報告をいただくことになりました。



■ 芳賀町新春の集いに正副会長出席

芳賀町新春の集いが1月8日(水)芳賀温泉ロマンの湯で開催され、町議会議員、自治会長ほか各種団体の代表者など約90名が出席しました。

芳工連から川上会長、多部田・種子副会長と事務局長渡辺が出席しました。

大関一雄町長がインフルエンザで欠席になったため菱沼正裕副町長の主催者挨拶、小林信二町議会議長はじめ地元選出の衆議院議員2名・県議会議員1名、田川治道町商工会長の祝辞の後、川上芳工連会長の乾杯の発声で祝宴に入りました。名刺交換やご挨拶で会場は賑やかになりました。



<川上会長：乾杯発声>

■ 国道408号線 宇都宮高根沢バイパス野高谷立体開通式挙行

栃木県宇都宮土木事務所は1月30日(木)、一般国道408号線宇都宮高根沢バイパスの野高谷町交差点立体の完成を祝い、開通式と通り初め式を挙行了しました。

ゆいの杜地内の県産業技術センターで行われた開通式には、地元選出の国会議員、県議会議員、宇都宮市長はじめ国土交通省関東地方整備局職員など多くの来賓が参列しました。川上芳工連会長も招待を受け参列しました。

国道408号バイパスは、常磐道の谷和原ICから延びる国道294号バイパスとともに、東北道の矢板ICまでを最短で結び約100kmの高規格道路「常磐・宇都宮東部連絡道路」の一部に位置付けられています。この内、宇都宮高根沢バイパスは6.6kmで、今回供用開始した1.1kmを4車線化するとともに、野高谷陸橋、ゆいの杜陸橋により立体化され、周辺の工業団地、住宅団地へのアクセスなど円滑な通行の確保が期待されます。また、この路線は第一次緊急輸送道路として指定されており、災害時には輸送の骨格をなす重要な道路です。



<福田知事式辞>



<佐藤宇都宮市長祝辞>

主催者挨拶で福田富一知事は「野高谷立体の開通により、渋滞の解消や更なる地域産業の活性化が図られるものと大いに期待しています」と述べました。

通り初め式は、野高谷立体に場所を移して執り行われました。交通安全祈願の後、テープカットとくす玉開披が同時に行われ、川上会長がくす玉開披に参加しました。

通り初めは、福田知事が運転する乾電池式フォーミュラカー（宇都宮工業高校生製作）が先導、白バイ2台とNSXのパトカーが続き、その後を招待者が次々に通行しました。



<テープカット・くす玉開披（川上会長：最後列中央左）>



<福田知事フォーミュラカー乗車>



<通り初め式会場と LRT 高架橋>

■ お知らせ

◆2月14日(金)は芳工連会員企業他事業所訪問のため、管理センター事務所を臨時休館しますのでよろしくお願いいたします。

なお、事前に予約をいただければ小会議室を除く会議室、体育館は使用できます。

《 芳工連日誌 》

【 1月の実績 】

- 6日 仕事始め
- 8日 芳賀町新春の集い
- 15日 女性活躍推進会議
- 17日 芳工連賀詞交歓会
- 22日 資源ごみ回収
- 29日 町商工会理事会
- 30日 国道408号野高谷立体開通式
- 31日 団管連幹事会

【 2月の予定 】

- 7日 知事との意見交換会（団管連主催）
- 12日 ボウリング大会
- 14日 芳工連会員企業他事業所訪問
- 26日 資源ごみ回収



<3号緑地（管理センター南東）に咲いた紅梅>